

つながるころろ ちからをあわせ はじけるえがお しあわせいっぱい



つちはし

しせい しゅうねん むか 市制100周年を迎えて

かわさきしりつつちはししょうがっこうこうちよう よしの あきこ
川崎市立土橋小学校校長 吉野 晶子

6月21日に関東地方の梅雨入りがようやく発表されました。平年よりも2週間ほど遅いとのこと。これからはいよいよ雨の季節到来ですが、最近の気温上昇を考えると、本格的な夏の訪れもすぐ近くまで来ているように感じます。いよいよ7月。プール学習も始まります。晴天が続くことを願いたいところですが、気温や湿度の高い日々を考えると、水分補給をはじめとした熱中症対策には、十分気を付けていきたいと思えます。熱中症指数が高くなった場合には、屋外の活動やプール学習を控えることもありますので、ご承知おきいただければと思います。

さて、7月1日は「川崎市制記念日」です。今年市制100周年を迎え、大きな節目の年となります。神奈川県では横浜市、横須賀市に次ぐ3番目の都市として、1924年(大正13年)7月1日に川崎町、御幸村、大師町の合併によって「川崎市」が誕生しました。4月には市制100周年記念誌「カワサキノコト」が各学校に配付され、校長室前の「市制100周年コーナー」に置かれています。宮前区のページには「鷺沼駅」が紹介されており、休み時間には子供たちが手に取って読んでいます。6月27日の朝会では、担当教員から市制記念日についての話があり、市制100周年についてのプロモーションビデオを視聴しました。また、給食時間には、「知って、関わって、好きになる」「ブランドメッセージで始まり、ブランドメッセージで終わる」をキーワードに企画された「学校e～ね★サミット」へ参加するために昨年度4年生(現5年生)が制作した学校や地域の良いところを紹介しあう動画を視聴しました。この動画は「学校e～ね★サミット」交流サイトからご覧いただくこともできます。その他にも様々な祝賀イベントが企画され、6月29日に行われる「かわさき飛躍祭」ではブルーインパルス飛行が行われます。飛行経路には鷺沼駅上空も計画されているようですので、本校の上空をブルーインパルスが飛行するかもしれませんね。子供たちが自分の住む「川崎市」を「わたしたちのまち川崎」としてこれまで以上に「もっと知って 関わって好きになる」ことを願います。これまで進化を続けてきた100年からこれからも進化を続けていく100年として夢を広げ、未来を創る担い手として活躍してくれることを期待しています。

先日、3年生が学年園で収穫したという甘くて美味しいミニトマトを届けてくれました。一人一鉢栽培では子供たちが熱心に世話をし、植物が順調に生育しています。夏休み期間は各ご家庭で世話を続けていただくこともあるかと思えます。何卒、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。